

大村市の

財政事情

一般会計決算

※決算統計の数値を使用しています。

歳入 384億3,650万円

(前年度比 4.3%減)

- 市民税 約43億円
- 固定資産税 約47億円
- 都市計画税 約8億円

など
※都市計画税7億7,348万円は都市計画事業等の財源として、入湯税502万円は環境衛生施設整備の財源として活用しました。

- 財政調整基金等繰入金 3億円など

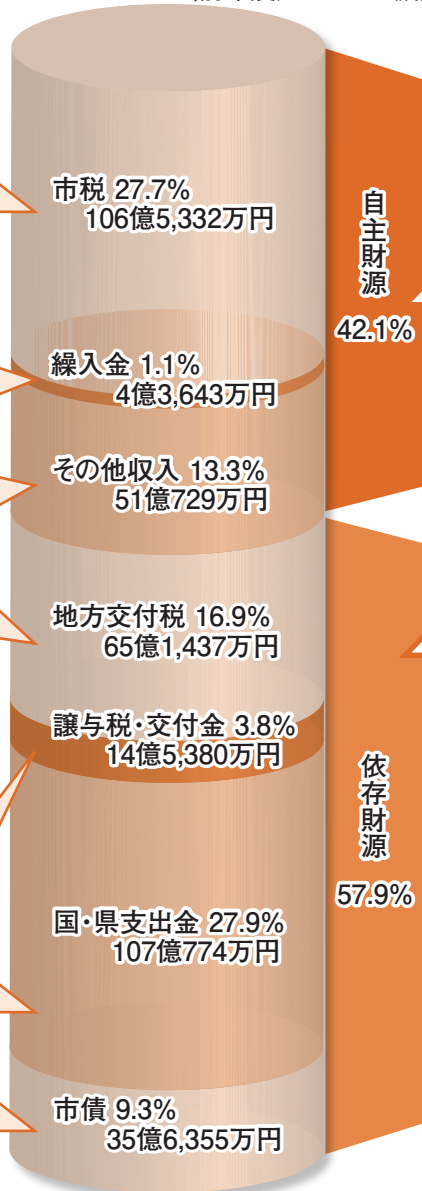
施設使用料や手数料など。

どの地域の住民でも一定の行政サービスを受けられるよう、国が地方公共団体に国税(所得税、法人税など)の一定割合を交付するもの。

平成26年度からの消費税率引き上げに係る地方消費税交付金は、社会保障経費などに活用しました。

国や県が使い道を決めて、市町村に交付するもの。

市の建設事業などに係る長期の借入金。



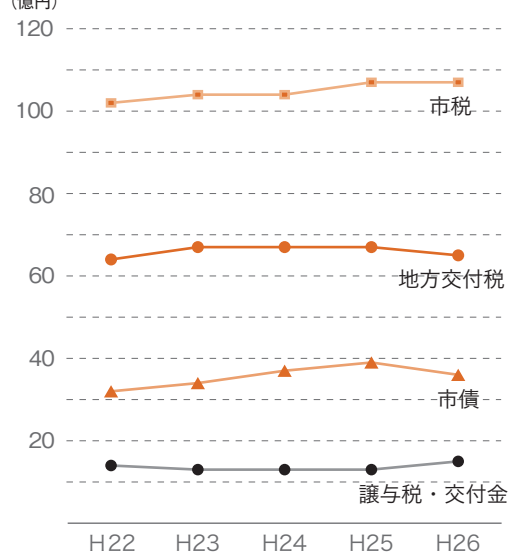
市では、年に2回財政事情を公表しています。

今回は、平成26年度決算の概要と平成27年度予算の執行状況についてお知らせします。

市の財政に関する資料は、市ホームページに掲載しています。

■財政課(内線281)

主な歳入の年度別推移



一般会計市債残高 325億5,294万円

平成25年度末残高 314億500万円
11億4,794万円の増(+3.7%)

平成26年度 特別会計決算

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	95億3,247万円	93億 724万円
後期高齢者医療事業	8億7,929万円	8億7,794万円
介護保険事業(保険事業勘定)	58億2,185万円	57億6,910万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	4,633万円	4,633万円
簡易水道事業	4億9,986万円	4億9,986万円

市民1人あたりどのくらいのお金が使われたの?

平成26年度は市民1人あたり39万5,200円のお金が使われました。これを目的別に分類すると次のようになります。

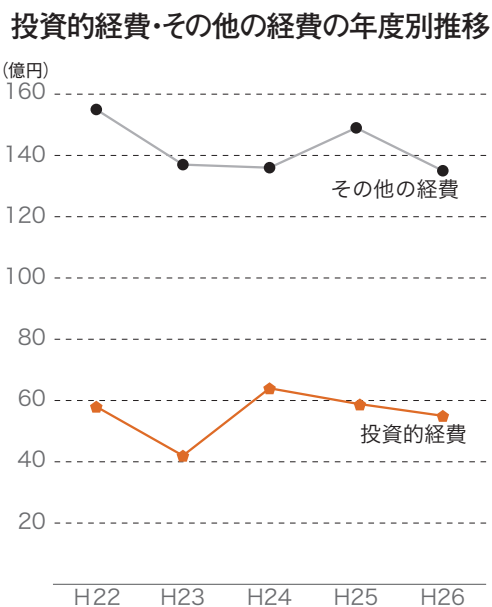
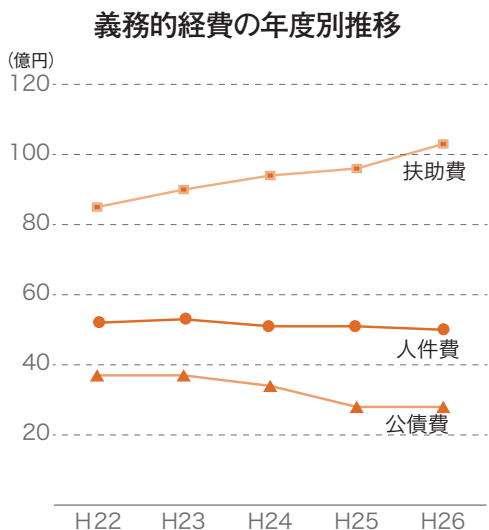
民生費 15万8,300円 (40.0%) 子どもや高齢者、障害者などの福祉のために	土木費 4万6,200円 (11.7%) 道路や公園の整備などのまちづくりのために	総務費 4万5,100円 (11.4%) 行政運営のために	衛生費 3万5,100円 (8.9%) ごみの処理や市民の健康のために	教育費 3万5,100円 (8.9%) 学校・公民館などの整備や教育振興のために	公債費 3万100円 (7.6%) 市の借入金の返済のために
商工費 1万8,500円 (4.7%) 商工業の振興や消費者保護のために	農林水産業費 1万3,400円 (3.4%) 農林水産業の振興と育成のために	消防費 9,000円 (2.3%) 火災・台風などの防災活動のために	議会費 3,100円 (0.8%) 市議会の運営のために	その他 1,300円 (0.3%) 災害復旧などのために	参考:平成27年3月末 住民基本台帳人口 93,921人 (外国人を含む)



平成26年度

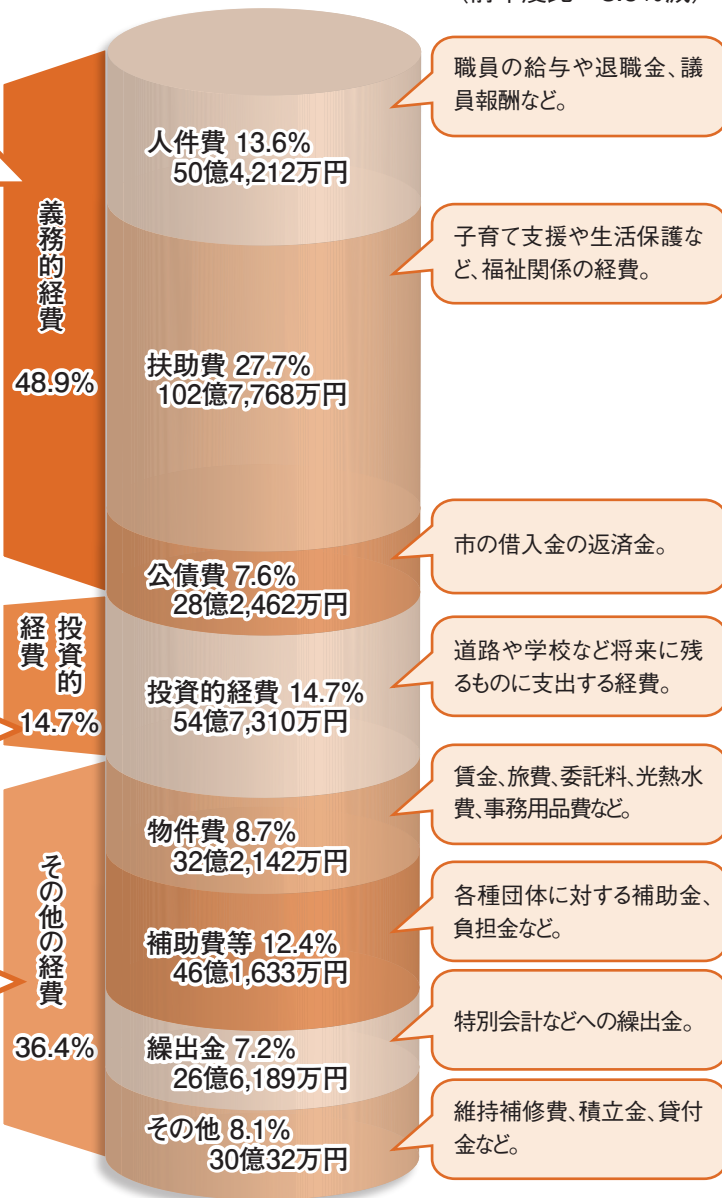
歳出 371億1,748万円

(前年度比 3.0%減)



平成26年度 主な投資的経費

- 公営住宅等整備事業(本町アパート) 約8億円
- 小・中学校施設等耐震化事業 約6億円
- 私立保育園整備事業 約5億円



職員の給与や退職金、議員報酬など。

子育て支援や生活保護など、福祉関係の経費。

市の借入金の返済金。

道路や学校など将来に残るものに支出する経費。

賃金、旅費、委託料、光熱水費、事務用品費など。

各種団体に対する補助金、負担金など。

特別会計などへの繰出金。

維持補修費、積立金、貸付金など。

平成27年度予算の執行状況

平成27年度・一般・特別会計予算の執行状況をお知らせします。(平成27年9月30日現在)

一般・特別会計					
会計区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	364億8,890万円	167億73万円	45.8%	153億5,399万円	42.1%
特別会計					
国民健康保険事業	106億8,224万円	44億2,489万円	41.4%	45億5,431万円	42.6%
後期高齢者医療事業	9億266万円	3億482万円	33.8%	3億3,080万円	36.6%
介護保険事業(保険事業勘定)	64億304万円	24億8,906万円	38.9%	24億9,665万円	39.0%
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	4,790万円	1,571万円	32.8%	2,123万円	44.3%
簡易水道事業	7億3,463万円	834万円	1.1%	8,544万円	11.6%
工業団地整備事業	8億8,735万円	0円	0.0%	2億9,928万円	33.7%

財産の状況

施設敷地	建物	基金・積立金	その他
252万㎡	32万㎡	16件	
203億円	452億円	93億円	81億円

一時借入金残高

借入限度額	80億円
借入残高	0円

平成26年度 大村市の財務書類4表(普通会計)

現在の地方公会計制度は、収入や支出といった現金の動きがわかりやすい反面、これまで整備してきた資産やコストなどの情報が不足していました。市では、それらの情報を補うため、「総務省方式改訂モデル」を用いて、財務書類4表を作成しました。



貸借対照表

施設・現金・債権など市が所有する財産(資産)と、その財産を形成するための借金残高(負債)、すでに支払い済みの額(純資産)を示したものです。

市の資産です。

将来の負担です。

資産 1,362億円

負債 368億円

【内訳】

公共資産 1,207億円
(道路・公園・学校など)

【内訳】

固定負債 341億円
(地方債・退職手当引当金など)

投資等 100億円
(基金・出資金・長期延滞債権など)

流動負債 27億円
(地方債など)

流動資産 55億円
(現金・預金・市税未収金など)

これまでの負担です。

純資産 995億円

うち歳計現金 13億円

(国県補助金・市税など)

行政コスト計算書

資産形成に結びつかない行政サービスに係る費用と使用料・手数料などの収入を示したものです。

経常行政コスト 309億円(A)

【内訳】

人にかかるコスト 45億円
(人件費・退職手当引当繰入金など)

物にかかるコスト 74億円
(物件費・減価償却費など)

移転支的コスト 186億円
(社会保障給付・他会計等への支出など)

その他のコスト 4億円

経常収支 12億円(B)

(使用料・手数料など)

純経常行政コスト 297億円(A)-(B)

資金収支計算書

1年間の市の資金(収入と支出)がどのような内容で増減しているかを、項目別に示したものです。

期首資金残高 19億円

当期収支 △6億円

【内訳】

経常的収支 62億円

公共資産整備収支 △16億円

投資・財務的収支 △52億円

市税や地方交付税などで補っています。

期末資金残高 13億円

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が、1年でどのように変動したかを示したものです。

期首純資産残高 998億円

当期変動高 △3億円

【内訳】

純経常行政コスト △297億円

一般財源 194億円

その他 100億円

市税などです。

期末純資産残高 995億円

国県補助金などです。

●貸借対照表からわかる資産と負債の状況

- ・市民1人あたりに換算すると、**資産は約145万円、負債は約39万円**となります。
- ・道路や学校などの公共資産に対し、**これまでの世代が負担した割合は約75%**となります。

※一般会計だけでなく、特別会計や企業会計、さらに、第三セクターなどを含めた連結財務書類も作成しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

平成26年度 企業会計決算

競艇事業	区分		決算額
	収益的	収入	575億1,358万円
		支出	566億5,195万円
		差引	8億6,163万円
	資本的	収入	28億3,612万円
		支出	66億1,526万円
差引		△37億7,914万円	

企業債残高 51億5,808万円

水道事業	区分		決算額
	収益的	収入	18億6,174万円
		支出	17億7,688万円
		差引	8,486万円
	資本的	収入	3億4,136万円
		支出	10億5,196万円
差引		△7億1,060万円	

企業債残高 111億8,406万円

工業用水道事業	区分		決算額
	収益的	収入	2億1,173万円
		支出	2億5,727万円
		差引	△4,554万円
	資本的	収入	8,614万円
		支出	1億 375万円
差引		△1,761万円	

企業債残高 12億6,486万円

下水道事業	区分		決算額
	収益的	収入	32億7,954万円
		支出	28億 437万円
		差引	4億7,517万円
	資本的	収入	8億7,636万円
		支出	22億6,140万円
差引		△13億8,504万円	

企業債残高 168億4,990万円

農業集落排水事業	区分		決算額
	収益的	収入	4億4,602万円
		支出	4億 25万円
		差引	4,577万円
	資本的	収入	6,951万円
		支出	2億1,713万円
差引		△1億4,762万円	

企業債残高 32億5,711万円

※モーターボート競走事業の資本的収支の差引不足額は、損益勘定留保資金などで補填しました。
 ※水道事業の資本的収支の差引不足額7億1,060万円は、損益勘定留保資金などで補填しました。
 ※工業用水道事業の資本的収支の差引不足額1,761万円は、損益勘定留保資金などで補填しました。
 ※下水道事業の資本的収支の差引不足額13億8,504万円は、損益勘定留保資金などで補填しました。
 ※農業集落排水事業の資本的収支の差引不足額1億4,762万円は、損益勘定留保資金などで補填しました。

平成27年度 企業会計予算の執行状況

競艇事業	区分		予算額	執行額	執行率
	収益的	収入	711億8,204万円	403億8,711万円	56.7
		支出	704億7,593万円	381億5,911万円	54.1
		差引	7億 611万円	22億2,800万円	
	資本的	収入	—	—	—
		支出	8億6,117万円	1億9,912万円	23.1
差引		△8億6,117万円	△1億9,912万円		

水道事業	区分		予算額	執行額	執行率
	収益的	収入	20億2,297万円	9億3,912万円	46.4
		支出	18億6,738万円	3億8,880万円	20.8
		差引	1億5,559万円	5億5,032万円	
	資本的	収入	4億2,377万円	5,061万円	11.9
		支出	11億4,357万円	4億 660万円	35.6
差引		△7億1,980万円	△3億5,599万円		

工業用水道事業	区分		予算額	執行額	執行率
	収益的	収入	2億3,146万円	7,930万円	34.3
		支出	2億8,146万円	5,423万円	19.3
		差引	△5,000万円	2,507万円	
	資本的	収入	7,852万円	0円	0
		支出	1億1,011万円	4,376万円	39.7
差引		△3,159万円	△4,376万円		

下水道事業	区分		予算額	執行額	執行率
	収益的	収入	34億4,560万円	16億8,229万円	48.8
		支出	26億9,553万円	4億4,481万円	16.5
		差引	7億5,007万円	12億3,748万円	
	資本的	収入	10億 155万円	1億4,235万円	14.2
		支出	22億4,440万円	6億9,685万円	31.0
差引		△12億4,285万円	△5億5,450万円		

農業集落排水事業	区分		予算額	執行額	執行率
	収益的	収入	4億4,380万円	3億1,792万円	71.6
		支出	4億 917万円	9,547万円	23.3
		差引	3,463万円	2億2,245万円	
	資本的	収入	1億1,717万円	9,690万円	82.7
		支出	2億5,536万円	1億1,042万円	43.2
差引		△1億3,819万円	△1,352万円		

企業債未償還残高

- 競艇事業…………… 51億 860万円
- 水道事業…………… 108億3,659万円
- 工業用水道事業…… 12億2,110万円
- 下水道事業…………… 162億5,102万円
- 農業集落排水事業… 31億4,669万円

(平成27年9月30日現在)